

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)和光市駅南口駅ビル計画	階数	地上7F,地下1F
建設地	埼玉県和光市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,ホテル,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年7月10日
敷地面積	2,928㎡	作成者	吉田 博
建築面積	2,280㎡	確認日	2018年7月11日
延床面積	11,368㎡	確認者	吉田 博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>共用部分では、自由な空間が創造しやすく、宿泊部分では騒音を抑え、採光に考慮した計画となっており、利用者が心地よい空間となっている。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>騒音を抑え、採光に考慮した計画となっている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空間の自由さに考慮した計画となっている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>一般的な配慮にとどまる。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>一般的な配慮にとどまる。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>一般的な配慮にとどまる。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>一般的な配慮にとどまる。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS (仮称)和光市駅南口駅ビル計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、() ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						3.7	0.15	3.4	1.00	3.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				騒音T-2、騒音大T-3とする。		4.9	0.40	4.0	0.40	
1 開口部遮音性能						5.0	0.95	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.05	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				LL-40.45とする。		3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				LH-50とする		3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.43	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.21	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.36	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.8	0.25	3.3	1.00	2.9
3.1 昼光利用						2.6	0.45	4.2	0.30	
1 昼光率		宿泊部分 7.40%				2.0	0.32	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.68	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.16	3.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.08	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.31	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	0.00	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.24	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.76	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.8
1 機能性						2.5	0.40	3.2	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	0.00	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.00	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	0.99	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		宿泊部分の天井高 2.60m				1.0	0.18	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.12	-	-	
3 内装計画						3.0	0.70	3.0	0.50	
1.3 維持管理						2.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.6	0.30	-	-	2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						1.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.7	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.14	2.4	0.50	
1	階高のゆとり	大規模物販 階高 3.9m以上	5.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	大規模物販 壁長さ比率=0.17	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.14	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.71	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.97	2.1	0.50	-	2.1
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器質タイル	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)と同等	3.1	0.33	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート


■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)和光市駅南口駅ビル計画	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.1	+	1.3	=	4.4	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.1
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)と同等としている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述> 一般的な環境に考慮した設計としている。			

: 入力欄